

草の根パートナー型
2016年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ミャンマー連邦共和国
2. 事業名	リプロダクティブヘルス (RH) に重点を置いたプライマリヘルスケア (PHC) 強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ミャンマーでは、ミレニアム開発目標 5 (妊産婦死亡率を 1990 年の 580 から 2015 年に 145 まで低下させる) が達成できずに終わり (2015 年 MMR178)、また妊産婦死亡の約 87%が農村で、90%は医療機関以外の場所で起きているとも言われる。このため、ミャンマー保健分野の最重要課題のひとつは、人口の多くを占める農村部において母子保健/RH のサービスをすべての人々が利用できるようにすることである。提案団体は、ミャンマーでの先行案件と日本の知見 (母子保健推進員の役割、ミャンマー版母子手帳の活用等) を活かしてこの課題に取り組むことで、取り残されてきた住民へのプライマリヘルスケア (PHC) の提供やユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の達成に繋がるコミュニティ強化の仕組みづくりを目指す。
4. プロジェクト目標	対象地域内でリプロダクティブ・ヘルス・サービスが向上し、その利用が増加する
5. 対象地域	バゴー (西) 地域 テゴン・タウンシップおよびパウカウン・タウンシップ
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	対象地域の妊産婦、女性 (特に出産可能年齢 (15-49 歳) の女性)
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 妊産婦や女性がリプロダクティブ・ヘルス (RH) サービスを受けやすい環境をつくるためのコミュニティの能力が強化される 母子保健推進員 (MCHP) の活動が強化・維持される 対象地域内で提供される RH に関するサービスと情報が向上する <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 地方行政官、保健医療従事者、住民代表が、妊産婦や女性の健康改善を目指す参加型保健計画 (コミュニティ・アクションプラン) を作成し、計画に沿った活動を行う。併せて活動実施に必要な健康教育教材の配付や、行政官を対象とした研修を行う 母子保健推進員の知識と活動意欲の向上に資する各種研修を行う。また、活動 1 との連動で、母子保健推進員の活動を支援する環境を整える (例: 母子保健推進員支援のための募金制度の導入等) 保健医療従事者の RH 関連の知識と技能を向上させるため各種研修を行う。
8. 実施期間	2017 年 9 月～2020 年 12 月 (3 年 4 カ月)
9. 事業費概算額	92,799 千円
10. 事業の実施体制	ヤンゴンの団体事務所を拠点とし、プロジェクトマネージャーと現地調整員がカウンターパート (各タウンシップ保健局) と共同でプロジェクトを実施・管理する。各タウンシップにプロジェクト運営委員会を設置し、活動の進捗確認と必要に応じた計画の見直しを行う。また、保健スポーツ省公衆衛生局妊産婦保健 RH 課・健康推進課からは、研修等において必要な技術支援を受けるとともに、プロジェクトからは、成果達成状況や教訓等に関する情報共有を定期的に行う。日本の事務所では、安全管理や精算作業等の後方支援を行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益財団法人ジョイセフ
2. 活動内容	国内外でのリプロダクティブ・ヘルスの推進を目的とした以下の活動: 開発途上国での地域展開型プロジェクト。保健教育教材の開発・制作。海外研修員の受け入れおよび研修事業 (JICA 委託集団研修等)。各種政策提言。日本国内での広報・国内啓発・支援者拡大活動。